

図書館へいこう!

話題の新着本

『教誨』 柚月 裕子 / 著

遠縁の死刑囚・響子の身柄引受人に指名された香純と母は、刑の執行後、遺骨を受け取った。香純は、「約束は守ったよ、褒めて」という響子の最期の言葉の真意を探り始め…。女性死刑囚の心に迫る本格的長編犯罪小説!



『ギフトッド』 藤野 恵美 / 著

国内トップの大学を卒業し一流企業に就職したものの退職、現在はフリーランスの翻訳者として暮らす凜子。姪の中学受験に伴走することになった凜子は、周囲の期待にうまく応えられなかった自分の半生を振り返り…。



『息をつめて』 桂 望実 / 著

誰かと親しくならないよう、次々と仕事を変え、住まいも転々と変え、都会の片隅でひっそりと暮らしていた50歳の麻里。ある事件を発端に、秘密を抱えた女が決意する、愛憎の果てにあるものとは。



『グッドナイト』 折原 一 / 著

アパート「メゾン・ソレイユ」に入居しているのは、眠りに問題を抱える人ばかり。ぐっすり眠れるなら、死んでも構わない!? “騙りの名手”の企みを堪能できる連作短編集。



『秋雨物語』 貴志 祐介 / 著

秋雨の降る日には触れてはいけない世界の歪みが姿を現す…。奇妙な宿命を背負った男が語る「餓鬼の田」をはじめ、作家が体験した超常現象の記録「フーグ」など、全4編を収録。現代ホラーの第一人者が贈る暗黒奇譚集。



『秋麗 東京湾臨海署安積班』 今野 敏 / 著

かつて特殊詐欺の出し子だった戸沢の遺体が発見された。遺体が見つかる前日に彼と一緒にいた釣り仲間の猪狩と和久田に安積警部補が話を聞きに行くと、ふたりとも何かに怯えた様子で…。



『失踪願望。』 椎名 誠 / 著

後遺症、進む老い、進まない原稿、募る一方の失踪願望。78歳の椎名誠のサイアクときどきサイコウの、ある1年の記録。「新型コロナ感染記」も収録。



『連鎖』 黒川 博行 / 著

失踪した食品会社社長が遺体で見つかった。経営に行き詰まった社長の服毒自殺。最初は誰もがそう考えていたが、ひとりの死から、闇に沈んだ複数の犯罪が浮かび上がり…。本格警察小説。



『旅行鞆のガラクタ』 伊集院 静 / 著


ヤンキースタジアムのレインコート、三峽下りの川原の三峽石、歓喜の丘のマツカサ、ナイロビの木工職人の椅子…。作家・伊集院静が旅先から持ち帰ってきた品々への思い出を綴るエッセイ集。



今月のBEST本 (11月の貸出回数上位本)

『私だけ年を取っているみたいだ。』 水谷 緑 / 著

統合失調症の母、家庭に無関心な父、特別扱いされる弟、認知症の祖父。ゆいは幼稚園のころから、買い物・料理・そうじ・洗濯など、家族の世話を一手に担っていて…。ヤングケアラーの実録コミック。



図書館福袋

6日から数量限定で、幼児・小学生向け福袋(テーマ別おすすめ本セット)を用意しています。お楽しみに!読み終わりましたら、ご返却をお願いします。

